

広島大学法科大学院

小論文試験

2023年11月11日(土)

10:30~11:50

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて7ページです。
- 2 問題は3問、解答用紙は3枚、下書用紙は2枚です。問いごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外、マス枠外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】

以下の文章は、「信頼」について述べたある著書からの抜粋である。この文章を読んで、次の問いに答えなさい。なお、出題に際して、一部省略・変更した箇所がある。

第1問（60点）

以下の文章を400字以上600字以内で要約して（句読点も1字と数えるものとする）、
「信頼」概念の多面性を踏まえて、「信頼」概念の内容を述べなさい。

第2問（50点）

Aは、急に金100万円のお金が必要となり友人Bに対して借金を申し込んだが、Bがそれを
用立てるかどうかを悩んでいるという事例を前提にして、以下の問いに答えなさい。
Aに対し金100万円を用立てるかどうかを決定する上で、Bはどのような点を考慮する
と考えられるか。著者のいう「信頼」および「安心」の概念を踏まえ、Bが考慮する内容に
ついて具体的に述べなさい。

第3問（40点）

甲商品は現物を見せられただけでは品質が分からないのに対し、乙商品の品質は取引の
場で直ちに確認できる（商品の特性）。こうした商品の取引について特定の生産者と特定の
仲買人との間において行われる場合と市場で不特定の相手との間で行われる場合がある
（取引の態様）。

商品の特性、取引の態様のそれぞれについて、著者のいう「社会的不確実性」の内容を述
べなさい。また、商品の特性と取引の態様との組み合わせで考えられる4つの事例を挙げた
上で、それらの事例の中で、著者のいう「社会的不確実性」が最も大きいものを摘示しな
さい。